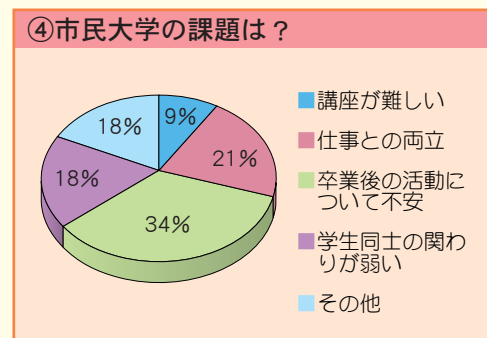
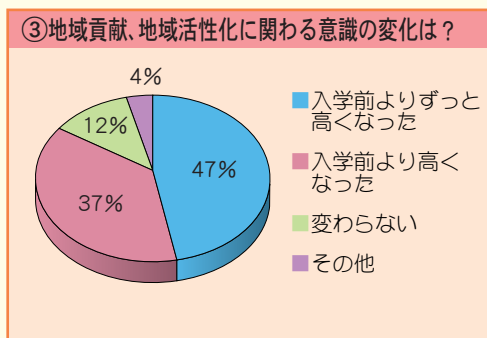
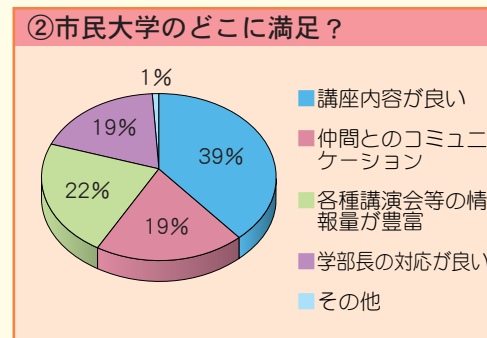
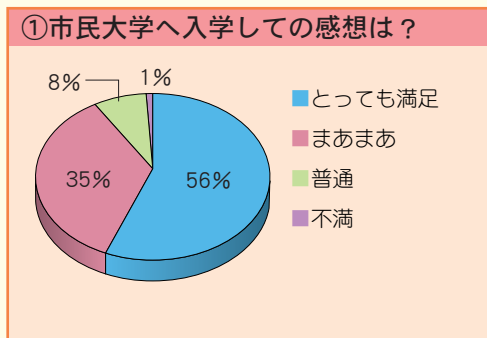




在学生の皆さんがてだこ市民大学をどのように評価しているのか、アンケートを取りました。結果から良さと課題が見えてきました。

多くの学生は入学には満足しているようです。しかし、卒業後の活動に不安があり、また、学生同士の関わりを持ちたいという思い

てだこ市民大学生90人に聞きました

現役てだこ市民大学生の声

- 若い人からお年寄りまで気軽に学べる。
- 地域参加活動で出会う方との触れ合いがある。また、講師から様々な情報や教養などが学べることが特典である。
- 職種の違う人たちが集まり、その出会いが素晴らしい。
- 浦添市のことが多方面から学べ、知識が深まり、有意義な時間を過ごすことができる。
- 行政、地域、学校との連携、多くの人々が地域を支える活動をしている状況などが学習できる。
- 市民大学はあくまでも導入。目的は自分で開発しなければ達成できない。

第5期生募集

開設学部：コミュニティビジネス・地域振興学部
健康福祉・スポーツ振興学部
文化振興・教養学部
地域・学校支援コーディネーター養成学部

定員：各学部15人
修学年数：2年
講座日：原則週1回（各学部年間36～38講座）
「地域参加活動（10単位）」

講座時間：午後7時30分～9時
講座会場：浦添市庁舎内会議室、中央公民館等
応募資格：満16歳以上で、市内に在住、在勤、在学している者、市外枠数人、健康で意欲のある者

学費：年間2万円、市外枠は2.5万円、入学金なし、学生（高校生、大学生、専修学校生）年間1万円

募集期間：平成25年1月31日（木）まで
募集要項：市役所1階総合案内所
市役所7階てだこ市民大学事務局 等

オープン講座…Welcome to 市民大学…

講座内容と受講の様子が見学できます。是非、来てください。

平成25年1月10日（木）午後7時30分～9時

①NPOの概要とコミュニティビジネス	市役所2階202室
②コミュニティビジネスの事業計画	市役所2階201室
③社会福祉の概要	市役所7階702室
④浦添市の地域福祉実践（CSW）	市役所7階701室
⑤村通りの魅力～野外の芸能～	てだこホール市民交流室
⑥琉球芸能・琉球舞踊（実技）	中央公民館視聴覚室
⑦開かれた学校とは何か	市役所5階第1入札室
⑧まちづくり・地域づくりの計画づくり	市役所5階第2入札室



卒業後も学習会へ参加



てだこハーリー大会へ初出場

浦添が好きな方、浦添を知ることでもっと好きになりたい方 てだこ市民大学で学ぼう

市民の「学習したい!」という気持ちに応え、学ぶ喜びを促進し、自己実現への支援とともに、本市のまちづくりに貢献できる人材の育成を目的として「てだこ市民大学」が開設されました。

学習成果としては、習得した知識や経験を地域社会や学校教育等へ還元することができます。浦添が好きな方、もっと好きになりたい方、てだこ市民大学と一緒に学び「夢のある浦添市」をつくっていきましょう。

問い合わせ てだこ市民大学事務局(生涯学習振興課内) ☎876-1234 (内線6064)

市民大学の特徴は？

市民大学へ入学すると、一番変わるのとは地域貢献への意識が一層高まることです。

卒業生のその後は？

卒業生は多岐にわたって活躍しています。

学校支援関連では、学校支援地域本部事業コーディネーター、放課後子ども教室ボランティアやコーディネーター等に携わっています。

行政等関連では、スポーツ推進委員、社会教育指導員、市民相談員、人権擁護委員等に携わっています。

その他、観光協会、自治会、PTA、各種団体役員など、様々な場所で学習成果をいかし、それぞれのやり方で、地域貢献をしています。



楽しく地域参加活動中

毎週木曜日の午後7時30分から9時まで講座の時間があります。講座のほか、卒業するには「地域参加活動」の10単位の取得が必要です。地域行事等に参加することで単位が得られます。

市民総決起大会や愛の声掛け作戦等でオレンジの市民大学Tシャツを着て活動をしているのが、てだこ市民大学の学生です。

学生にとって「地域参加活動」が、地域貢献の意識を高めている要因になっています。卒業生で立ち上げたボランティアサークルの「ボラクル」でも地域参加活動を継続しています。

てだこ市民大学は開設4年目です

公開講座に参加した一般市民の声



久高マンマ家クリニック Dr.久高の健康講座

- ・とても良かったです。笑いながら学ぶことができました。また公開講座をしてほしい。
- ・分かりやすく楽しいお話でした。もっと聞きたかった。また企画してください。
- ・すごく興味がある講座だったので参加した甲斐がありました。とても楽しく聴き応えがあり、3回とも参加でき良かったです。



ワークショップで自分の意見を



琉球舞踊にも挑戦するが……

今年から変わったことは？

4年目を迎え、今年から各学部とも講座内容に、より実践的なものを多く取り入れました。ワークショップや実習型の講座を増やし、学生の主体的な考えを引き出すよう取り組んでいます。

また、学生による企画イベントを増やしました。てだこハーリー、グラウンドゴルフ交流会、まちなか活性化サポーター等、学生の自主的・自発的・実践的活動を奨励しています。

さらに、市民サービスとして、一般市民も参加できる公開講座を充実させました。「メンソール公開講座」と銘打ち、これまでに歴史講座や健康講座、学校支援講座、経営講座等を開催しました。

また、市民に親しまれる「市民大学」を目指し、これまで成人対象であった講座を親子対象にするなど計画しています。